

平成 23 年
9 月 11 日 執行
久慈選挙区

岩手県議会議員選挙選挙公報

岩手県選挙
管理委員会

「確かな県北」をつくる！

復旧・復興施策の着実な推進

- ①復興に向けた予算の前倒し執行
- ②雇用環境を改善するための企業・事業の誘致
- ③被災インフラ整備と復興道路の早期実現
- ④こころのケア・サポートの充実

活力ある地域の確立

- ①個人の資質が活かされる教育環境の充実
- ②地域の特性にかなう産業構造の確立
- ③希望する地域で就業できる雇用基盤の確立

安心・安全を実感

- ①放射能に対する安全対策と風評被害の防止
- ②子供・高齢者が不安なく住める環境づくり
- ③安心の医療福祉体制構築
- ④東日本大震災を教訓とした防災プランの策定

創造的復興で「確かな県北」を!!

- ①県政報告・会報発行など情報共有と意見交換
- ②積極的な施策提言による成果を実感する予算執行
- ③格差問題など多様な行政需要に応える施策の推進

一人ひとりの声を反映

- ①地元商店街を含めた、地産地消(商)のさらなる推進
- ②地域の方々が自信をもって協働できる産業おこし
- ③滞在型の旅行に対応できる観光旅行産業の展開

地域の魅力を発掘・発揮

- ①県北の底上げ施策の確立と実行
- ②地域内に孤立集落を発生させないため、基幹交通網の整備
- ③水産業の早急な建て直しにより生産・支援と6次産業化の推進

生活・産業基盤の整備・強化

達増県政は「希望郷いわて」を旗印に「県勢浮揚に、県北沿岸の底上げ」を掲げ、多様な施策を実行しています。このときこそ地域が抱える諸課題をしっかりと集約し、共鳴できる政策を実行しなければなりません。先ずは大震災の克服・創造的復興を実現するため皆様と情報を共有し行動して参ります。変わらぬご声をお願ひし、3期目挑戦のごあいさつとさせていただきます。

略歴
久慈高等学校卒・岩手大学卒
建設省・小沢事務所勤務を経て
H15年より岩手県議会議員(2期)

皆様の声を県政へ！



なか たい
中 平
ひと し

39歳

民主党公認

私は行動します。

- 大震災の被害状況を目の当たりにして、私は被災前の状況に一刻も早く戻す、**復旧**を第一の使命とします。
- 岩手県・久慈市・野田村が示す**復興・飛躍**を目指して、**あるべき姿の実現**に向けて邁進いたします。
- 多くの住民が安心して住むことができ、近くに**働く場**があり、家族が**幸せ**に暮らしていける**地域づくり**に全力を尽くします。
- 私がこれまで推し進めてきた『**豊かな県北沿岸実現のための政策**』を、積極的に推し進めます。



さ い ち ろ う
自由民主党
さ い ち ろ う

プロフィール
○昭和三十三年(一九五八年)十月一日久慈市旭町に生まれる
○久慈中学校、久慈高校、学習院大学文学部卒業後、同大学院修士課程に三年間在籍
現在の主な役職
○環境福祉常任委員会、議会運営委員会
○久慈中学校同窓会長、(社)岩手県食品衛生協会久慈支会顧問、久慈市消防団第二分団員

「震災からの復興」 未来への責任

～略歴～
昭和26年6月 山形村に生まれる
昭和48年4月 有限会社清水商店代表取締役
平成元年5月 岩手県商工会青年部連合会会長
平成6年5月 平庭観光開発代表取締役社長
平成8年5月 山形村商工会会長
平成11年5月 山形村村長
平成18年4月 久慈市特別参与
現在 ふるさと体験学習協会会長

挑戦だけが チャンスを作る!

- 「震災復興」と「地域力」再発見、地域の宝を磨き直す
- 「食」こそ起爆剤。海・山の幸、大地の恵みで流通ネットワークの拡大
- 「どうせ無理」を断つ。雇用問題、地域格差をあきらめない
- 「競争から共創へ」みんなで考え支えあう地域づくり
- グリーン産業の創出、人と伝統文化で観光交流人口の拡大
- 子どもたちに夢と感動を与えられる体験学習の場を
- 医療、福祉の充実。心が通い合い、健やかに人輝く地域づくり

～ごあいさつ～

今大切なこと、それは「競争から共創へ」シフトすること。私はふるさと県北地域の限らない前進と、震災復興のため、持てる情熱の全てを傾注することを誓います。

地域の力 再発見。



しみず きょういち
清水恭一
無所属

平成 23 年
9 月 11 日 執行
久慈選挙区

岩手県議会議員選挙選挙公報

岩手県選挙
管理委員会

9 月 11 日 (日) は、投票日です。

投票時間は、**午前 7 時**から**午後 8 時**までです。

ただし、一部の投票所ではこの時間と異なる場合がありますので、入場券・市町村広報などで確認されるか又は市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

～9 月 11 日 (日) に予定のある方へ～

期日前投票制度を活用しましょう!

- 次のような方は、期日前投票ができます。
 - ・ 投票日に、お仕事や冠婚葬祭などの予定のある方
 - ・ レジャーやお買い物などの私用で、投票日に投票区内にいない方
- 期日前投票は、投票日の前日 9 月 10 日 (土) までできます。
- 期日前投票は、名簿登録地の市町村の役場等で行うことができます。
(期日前投票ができる場所については、市町村の選挙管理委員会にお確かめください。)
- 期日前投票ができる時間は、午前 8 時 30 分から午後 8 時までです。
(ただし、一部の期日前投票所では、この時間と異なる場合がありますので、市町村の選挙管理委員会にお確かめください。)
- 期日前投票所へ行き、宣誓書に記入すれば、投票できます。ハンコは必要ありません。



～最近、県内で引越しをされた方へ～

投票しようとする方が、平成 23 年 6 月 2 日以降に岩手県内の市町村間で住所を異動した場合、投票の方法が通常と異なることがありますので、ご注意ください。

- **該当する方**
平成 23 年 6 月 2 日以降に県内の市町村間で 1 回だけ住所を異動された方
- **投票方法** (次の 3 つのいずれかの方法となります。)

- ① 前の住所地で投票 (いつ? → 投票日当日。どこで? → 前の住所地の投票所で)
- ② 前の住所地で期日前投票 (いつ? → 投票日の前日まで。どこで? → 前の住所地の期日前投票所で)
- ③ 今の住所地で投票 (いつ? → 投票日の前日まで。どこで? → 今の住所地の不在者投票所で)

- 投票の際には、前の住所地又は今の住所地の市町村の役場等で発行する「**引き続き同一県内に住所を有する旨の証明書**」(無料)が必要ですので、早めに交付を受けてください。

※ 詳しくは、最寄りの市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。

(この選挙公報は、候補者から提出された掲載文をそのまま写真製版により印刷したものです。)(この選挙公報の掲載順序は、くじで決定しています。)